

令和7年度 第2回 白脇小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年11月14日(金) 13時15分から15時00分まで
- 2 開催場所 白脇小学校 会議室
- 3 出席委員 田口 博、鶴屋 義照、柳川 樹一郎、清水 哲夫、外波山 裕康、
中村 真弓
- 4 欠席委員 望月 真菜(学校支援コーディネーター兼務)、大石 絵理
- 5 学 校 神 宏之(校長)、廣野 希代美(教頭)、安川 剛史(教頭)、
榛葉 崇文(主幹)、植田 敬子(CSディレクター・学校支援コーディネーター)
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 植田 敬子
- 8 議長の選出

司会の榛葉から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鶴屋副会長からの推薦により、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

(1)特色ある学校づくり、学校の抱える課題と改善策、支援策の具体化について

- ・「気持ちのよいあいさつができる元年」として
- ・本校の取り組みについて
- ・家庭でも地域でもあいさつができるようになる策

10 会議記録

司会の榛葉から、委員総数8名のうち6名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1)特色ある学校づくり、学校の抱える課題と改善策、支援策の具体化について

- 議長の指示により「気持ちのよいあいさつができる元年」として、地域でも家庭でもあいさつがしっかりできる子に育てるために、どうすれば良いのか意見を出し合った。委員からは以下の発言があった。
 - ・家庭が十人十色で、父親目線・母親目線でもあいさつの感覚が違うが、親がしっかりあいさつさせることが大切だ。あいさつは最小限のコミュニケーションで、お互いが打ち解けるための材料にもなるため、とても大切な手段である。(柳川委員)
 - ・本来は家庭で培われるべきものであり、評価がしにくい上に、達成感の少ない「あいさつ」を指導する難しさがある。小学校はその種まきの部分にあたるのではないか。(鶴屋委員)
 - ・「子は親の後ろ姿を見る(真似る)」ため、子供よりも前に、大人に向けて指導していく必要がある。(田口委員)
 - ・大リーグの大谷選手のような人間性が日本の良さとして、世界で評価されている現在、そういう子供をどのように育てていけばよいのか。果たして家庭なのか学校なのか。いろいろな場面場面で種まきがされていき、培われていく。そのため、何よりも親、大人(地域)が手本になるべきだ。(外波山委員)
 - ・母親目線から、地域の声掛けはとてもありがたいが、昨今の子供への事件など怖いニュースを見ると、必要以上に深入りしてくる人への不安も募る。見守りの目と防犯と両方の思いがある。(中村委員)

・子供を育てるための地域の環境をどうやって作っていくかが課題。一概にあいさつできるだけのいいのではなく、他のところでも良さはあり、個性を大切にすべき。ただ、幅広く経験するための手段の「あいさつ」として温かく見守っていくことが大切である。(清水委員)

● 本校の取り組みについて

・地域の方々にあいさつをすることは、地域全体で子供たちの安全を守る「見守りの目」を増やしていることにつながっていることを教えていく。あいさつすること自体が大事な防犯対策になっていることを伝える。同時に、家庭では防犯上、知らない人から声を掛けられても対応しないようにしつけられている現状もある。そのため、判断基準を養うことも必要である。(校長)

・「顔を見る」ことがあいさつの第一歩。声が出せなくても、目を見ることであいさつになる。不審者は顔を見せたがらないという事実もあるため、学校・家庭において、相手の表情を見ることで判断基準を学ばせることも大切である。(柳川委員)

・防犯上、名前を隠して登下校するため、あいさつができない環境になりつつある。(鶴屋委員)

・昨年までのあいさつ運動を見直している。運動している時だけあいさつをするという、いわゆる強制的なあいさつはする必要がない。地域社会自体が変わってしまったため、〇〇運動は難しくなっている。(清水委員、校長)

・昔はかるたであいさつの仕方を学んだり、親のあいさつする姿を見たりして、大切なことを学べる環境があった。(田口委員)

● 家庭でも、地域でもあいさつができるようにする対策

・家庭→少なくとも、登下校時、旗振りに立っていらっしゃる地域の方、保護者には挨拶をするよう、指導する

・地域→大人が手本を見せていこう。大人から進んであいさつをする。

・学校→地域の人たちにあいさつすることは、防犯対策の大事な一つであることを伝える。

まずは、登下校時に旗振りをしていただいている方々へ進んであいさつをできるように働き掛ける。そして、ここに不審者に対する「いかのおすし」をセットにして指導していく。

(2) その他連絡事項等

・学校支援コーディネーターの本校での活動について廣野教頭から、学校支援コーディネーター研修会、学校支援ボランティアの活動について植田より報告した。

・教頭廣野から、浜松市が目指す地域活動クラブ活動『はまクル』始動のチラシ配布と簡単な流れを報告した。

・司会から、今年度の学校運営協議会自己評価表及び学校評価の回答を依頼した。

・司会から、次回会議は、令和8年1月30日(金)午後13時15分から会議室で開催する旨の報告があった。